

百折不撓

県立姫路別所高等学校野球部

野球部通信

No.2

2021.5.07

文責

監督：渡会雄士

題揮毫

本校書道科

上月通歳先生

～夏へ向けて～

新1年生が8名（選手5名マネージャー3名）入部し、総勢15名（選手：1年5名 2年3名 3年1名 マネ：2年3名 3年3名）となりました。この人数をどう感じていますか？正直、他の学校に比べたら多いとは言えません。そして、チーム作りにおいて人数は必ず強みになります。単に人数だけを見たら差がつくように感じるかもしれません。しかし、私は人数の多さだけがチームの強さに比例するわけではないと思っています。**人数×情熱**がチームの強さを決めます。スタッフ含め17名は決して多い人数ではありません。しかし、その分を野球への情熱、つまり「うまくなりたい」「勝ちたい」という想いでカバーしましょう。「熱意には熱意が返ってくる」（ハイキュー第4巻34話より）私の好きな言葉です。情熱を見せれば応援して下さる人が増えてきます。

～個の力の総和を上げる～

部員が揃い、実戦練習をたくさんしていきたいところですが、GW前から部活動が禁止となっていました。選手には自主練習日誌を渡し、毎日の練習内容や何を意識して取り組んだのか、その日の調子はどうだったのかを記入してもらっています。これから中間考査期間に入りますので練習内容は少し減るとは思いますが、変わらず自主練習日誌の記入は続けてもらおうと思っています。以前も言いましたが、自分の感覚を言語化することで思考が整理され、好不調の波が少ない選手になることができると私は思っています。好調の時は何を考えていたのか、何を意識すれば良い感覚でプレーできるのか、それを知ることで他者にアドバイスをすることもできるようになります。指導者からのアドバイスだけでなく、選手同士でもレベルアップできる、というのが理想です。そのために毎日自分の練習について丁寧に振り返るようにしてください。日誌の送信がおろそかになっている人がちらほら見えています。継続して何かを行う、習慣化するというのが一番難しいことです。ですが習慣を作る能力は大人になってからも必ず要る能力です。練習ができない期間の自主練習日誌は必ず毎日送信してください。個の力の総和を上げて練習再開後にチーム力を一気に上げていきます。そのための最高の準備を！！